

地域の達人 紹介します！

市では、生涯学習基本構想のもと、学びをととした人づくり・地域づくりを進めています。「地域の達人」と称して、地域で活動をしているいろいろなジャンルの達人の活躍する姿をより多くの方に知ってもらい、生涯学習のネットワークを広げていくため、毎月15日号で紹介しています。
地域の達人とは…高浜市に在住、在勤、在学している方で、いろいろな特技や専門分野を持った方



「着付の達人」

かみやあらえ
神谷新恵さん（沢渡町在住）

◆着付を始めようと思ったきっかけは何でしょうか？

母親が着物を着ていたことや、日本舞踊やお茶の席といった着物を着る機会が多かったので、自然と着物が好きになりました。着付は、誰かに教えたいというよりは、まずは自分が着ることができればという思いで資格をとりました。細く長くという気持ちで始めたのですが、気がついたら30年以上続けていますね。今では、婦人会衣裳部や文化協会にも所属して活動しています。



▲神谷新恵さん

◆神谷さんにとって着付の魅力はどんなところでしょうか？

着付は、着物の着方だけではなく、例えば着物のたたみ方、歩き方や座り方といった所作までを学ぶことができます。これが身につくと、着物を着ていない日ごろの生活でもちょっとした動作や立ち姿が美しくなります。

◆手話の着付指導を勉強していると聞きましたが。

「きもの手話着付士」という、厚生労働省認定資格ができたのを受けて平成24年に受験しました。70歳を過ぎてから新しいことにチャレンジすることは勇気がいりましたが、手話というコミュニケーション方法を覚えることは、私自身にとって価値ある体験でしたし、手話をとおして着付をより多くの方に親んでもらえたらという思いから、ほんの初歩ですが資格を取りました。この資格試験では、着付だけではなく、日常の基本的な手話も学ぶことができました。実際に手話を使って着付を指導したことはないのですが、もし着付を習ってみたいという方があれば、声をかけてください。



▲手話勉強に使用しているテキスト

◆これから着付をやってみたいなという方にメッセージをお願いします。

着物には、例えば、親から受け継いだ着物や、初めて買ってもらった着物など、その一枚一枚に物語があります。その物語を大切にしながら、着付を楽しんでもらえたらと思います。また、着付を学ぶことによって、日ごろの生活がより豊かなものになると思いますので、まずは気軽に体験から始めてもらえたらよいですね。



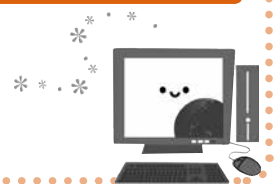
▲婦人会衣裳展にて

「タカハマ！まるごと宝箱」イベント紹介

「高浜港駅」を語ろう！

とき 12月17日(水)午後7時～ ところ かわら美術館

高浜港駅の現在の駅舎は建替えが予定されています。古写真などを見ながら、駅のいま・むかしを皆さんで語り合しましょう。



問合せ先 団文化スポーツグループ ☎ 52-1111 (内線 300) 📠 52-1110
Eメール bunka@city.takahama.lg.jp